

令和4年度市民福祉ニーズ調査について

1 アンケート調査の概要

(1) 調査の目的

本調査は、令和5年度に予定している「調布市地域福祉計画」「調布市障害者総合計画」「調布市高齢者総合計画」の改定を行う際の基礎資料とすることを目的に実施します。

市民の生活実態や地域福祉に対する意識・意見・ニーズ等を把握し、福祉に関する課題の抽出・分析により、実効性のある福祉施策の展開に資するものです。

(2) 調査の種類

下表のとおり、4区分について調査します。

区分	調査名	対象者	サンプリング	調査時期
調査1	市民主体の地域福祉を 実践するための意識調査	市内に居住する18歳以上 2,000人	住民基本台帳から 無作為抽出	10月頃 (予定)
調査2	高齢者の社会参加とこれからの暮らしに関する意識調査	65歳以上の市民 2,000人	住民基本台帳から 無作為抽出	
調査3	障害・難病等のある方の地域生活に関する意識調査(18歳以上)	①身体障害者手帳所持者 900人 ②愛の手帳所持者 300人 ③精神障害者保健福祉手帳所持者 300人 ④難病患者 300人	調布市内に住所がある身体障害者手帳所持者、愛の手帳所持者、精神障害者保健福祉手帳所持者、難病患者から無作為抽出	
調査4	障害・難病等のある方の地域生活に関する調査(18歳未満)	障害者手帳(身体・知的・精神)所持者、難病患者計 200人		

《参考(計画期間)》

(年度)	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
地域福祉計画	現行計画						次期計画					
高齢者総合計画			現行計画				次期計画					
老人福祉計画			現行計画				次期計画					
介護保険事業計画			現行計画				次期計画					
障害者総合計画	現行計画						次期計画					
障害福祉計画			現行計画				次期計画					
障害児福祉計画			現行計画				次期計画					

《参考（調査一覧）》

調査名	目的	調査対象者	調査方法	回収状況 (R1)
在宅介護実態調査	「高齢者等の適切な在宅生活の継続」「家族等介護者の就労継続」の実現に向けた介護サービスの在り方を検討することを目的とする	在宅生活される要支援・要介護認定者で調査期間中に更新・区分変更により認定調査を受けた方	聞き取り (認定調査員)	682 件
介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	要介護状態になるリスクの発生状況，各種リスクに影響を与える日常生活の状況を把握し，地域の抱える課題の特定（地域診断）に資することなどを目的とする	市内在住で 65 歳以上の要介護認定を受けていない方（一般高齢者，介護予防・日常生活支援総合事業対象者，要支援者）	郵送	1,066 件
市民福祉ニーズ調査	市民の生活実態や地域福祉に対する意識・意見・ニーズ等を把握し，計画策定の基礎資料とすることを目的とする	市内在住の 65 歳以上の方（他に 18 歳以上，障害者，障害児）	郵送	1,273 件
世帯状況調査	一人暮らし高齢者・高齢者のみ世帯の実態把握と災害発生時・緊急時の対応に役立てることを目的とする	新規 新たに 70 歳以上になられた一人暮らし高齢者・高齢者のみ世帯の方 再調査 平成 30 年度以前に調査対象となられた方	郵送	新規 2,024 件 再調査 17,030 件
ケアラー支援に向けたアンケート調査	ケアラー及びケアラーカフェ等運営者のニーズを把握し，ケアラー及びケアラー等の集いの場・団体への支援策を検討することを目的とする	ケアラーを支えるグループ，地域包括支援センター，市内介護サービス事業所	郵送	218 件

2 高齢者の社会参加とこれからの暮らしに関する意識調査（案）

調査対象：65歳以上の市民 2,000人

設問意図	No.	新規	設問項目	共通設問		
				市民	障害者	障害児
回答者の属性×各設問のクロス集計結果から、属性ごとの特徴や傾向を分析するための設問	1		性別	●	●	●
	2		年齢	●	●	●
	3		居住地域	●	●	●
	4	●	市内居住年数	●		
	5		居住形態（戸建、集合住宅、施設等）	●	●	●
	6		家族構成	●	●	●
	7		介護の有無			
地域のつながり、つながりが必要な場面、地域活動の基盤に関する考えの把握から、ささえあいのきっかけづくり、地域活動の多様化、地域参加の促進策を検討するための設問（地域力強化）	8		近所づきあいの状況（付問：近所づきあいをしていない理由）	●	●	●
	9	●	地域のつながりの必要性（付問：役立つ場面、必要としない理由）	●	●	●
市民同士でささえあう意識と実践、活動の現状と関心、参加しやすい条件の把握から、共助のきっかけづくり、共助に意欲ある潜在的な人材への働きかけ方、実践に結びつける効果的な取組を検討するための設問（地域力強化、担い手確保）	10		手助けしてほしいこと、できること	●	●	●
	11	●	実際に手助けをした経験の有無（過去1年間）	●	●	●
	12	●	実際に手助けをしてもらった経験の有無（過去1年間）	●	●	●
	13	●	手助けをする（してもらう）にあたり必要な取組	●		
	14		地域活動・ボランティア活動の取組状況	●		
	15		地域活動・ボランティア活動に参加しやすい条件等	●	●	●
	16	●	地域活動・ボランティア情報の探し方	●		
	17	●	地域活動・ボランティア活動に参加する場合に重視すること	●	●	●
	18	●	参加しやすい地域活動の種類（自治会、NPO、自主グループ等）	●	●	●
	19		地域活動・ボランティア活動への取組意向（付問：取り組まない理由）	●	●	●

設問意図	No.	新規	設問項目	共通設問		
				市民	障害者	障害児
テーマ① 高齢者の就労を支援する取組と環境づくりを検討するための設問	20		職業（就労状況）（付問：就業経緯）	●	●	
	21		今後の就労意向（就労形態）		●	
	22	●	就労・創業支援の認知度			
テーマ② 災害時の避難支援体制の強化策を検討するための設問	23		災害時の避難が一人でできるか		●	
	24		避難時の援助者の有無		●	●
	25	●	防災マップ、洪水ハザードマップ等で避難場所・避難経路・警戒区域等を核にしているか		●	●
	26	●	避難勧告等の情報はどのように収集されますか		●	●
	27	●	避難行動要支援者名簿の認知度・登録意向		●	●
テーマ③ 健康増進，権利擁護，成年後見の普及策を検討するための設問	28		「高齢者」を意識する年齢			
	29	●	認知症・フレイルに備えているか，今後備えておきたいか			
	30		アドバンスケア・プランニングや終活ノート等の認知度や活用状況			
	31		認知症対策として必要な取組			
	32	●	成年後見制度，地域福祉権利擁護事業（社協）の認知度	●	●	
	33	●	将来，判断能力が低下した際，誰に財産管理等を任せるか	●	●	
	34	●	今後の成年後見制度の利用意向		●	
次のパンデミック対策や複雑化・多様化する問題等を把握し，今後の事業展開の方向性や課題アプローチ等を検討するための設問	35	●	コロナ禍による暮らしへの影響	●	●	●
	36		困ったときの相談相手（人・機関）	●	●	●
	37	●	相談先の分からない困りごと（付問：内容）	●	●	●
	38 39	●	交流する機会・場所・方法への意向（商店街やお店との連携，ネット等）			

設問意図	No.	新規	設問項目	共通設問		
				市民	障害者	障害児
デジタル機器の利用状況や利用意向を把握し、今後の施策展開・情報提供の方法を検討するための設問	40	●	保健福祉施策に関する情報の入手方法	●	●	●
	41	●	スマートフォン・パソコン等の使用状況	●	●	●
	42	●	市のデジタル情報の定期配信の希望	●	●	●
	43	●	オンライン配信によるイベントの参加意向	●	●	●
	44	●	スマートフォン等の使い方講座の受講希望		●	
暮らしの満足度、施策意向の把握から、高齢者が暮らしやすい地域づくりに向けて重点的な取組を検討するための設問	45	●	地域の暮らしの満足度（9項目）	●		
	46		市の高齢者保健福祉施策の認知度			
	47	●	市内バリアフリー化の評価（12項目）	●	●	●
	48	●	心のバリアフリーの推進	●	●	●
	49		今後力を入れるべき高齢者保健福祉施策（サービス）		●	●
	50		介護者支援策			
様々な意見から、施策・事業の改善に反映するための設問	51		調布市の地域福祉への意見 ＜自由記述＞	●	●	●